

アジアを担うチェンジメーカーを育てる全寮制国際高校 ISAK、 国際バカロレア ディプロマ・プログラム校に認定

2015年4月1日

報道関係者各位

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK)

代表者名 代表理事 小林 りん 校長 ロデリック・ジェミソン

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(略称:ISAK(アイザック)、長野県北佐久郡軽井沢町、代表理事:小林りん、<http://isak.jp/jp>)は、国際バカロレア機構(IBO)より、国際バカロレア(以下、IB)ディプロマ・プログラムの認定校として認められました。

現在、一部にIBコースなどを設けている高校は存在しますが、全校生徒がIBを受講する高等学校は、当校が初めて*となります。IBディプロマ・プログラムは、高校2年次、3年次に受講する教育プログラムであるため、1期生もこの秋から受講し、卒業時はディプロマ取得が可能です。

当校は、2011年11月に文部科学省より教育課程特例校指定を受けており、IBのカリキュラムも含め授業はすべて英語で行っています。卒業後は、国内大学への進学はもちろん、今回国際バカロレア認定校となったことで、世界中に門戸が開かれる学校となりました。

*全校生徒にIBのMYP(Middle Years Programme:中学生向けのコース)を導入している中学校は存在します。

国際バカロレアについて

※文部科学省ウェブサイト、国際バカロレア機構資料参照

国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、ジュネーブに本部を置く国際バカロレア機構が提供する、国際的な教育プログラムで、平成27年3月2日現在、世界140以上の国・地域、4,050校(日本国内:30校)において導入されています。1968年に、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、①世界の複雑さを理解し、そのことに対処できる生徒を育成、②未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせ、③国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。

IBの学習者は、「探究する人」「知識のある人」「考える人」「コミュニケーションができる人」「信念をもつ人」「心を開く人」「思いやりのある人」「挑戦する人」「バランスのとれた人」「振り返りができる人」になることを目指します。これらの人物像は、知的成長や学習面での成功にとどまらない、人間としての幅広い能力と責任感を育むことを意図しています。また、これらの人物像を通じて、学校コミュニティの全員が自分自身をはじめ、他の人々、そして自分たち自身を取り巻く世界を尊重する人になるよう働きかけます。

ISAKについて

ISAKは、「アジア太平洋地域そしてグローバル社会のために、新たなフロンティアを創り出し変革を起こせるチェンジメーカーを育てる」ことをミッションに掲げ、国籍だけでなく社会的にも経済的にも多様なバックグラウンドの生徒が共に学ぶ全寮制高校です。海外から半数以上の留学生を受け入れ、日本語(国語)を除くすべての授業を英語で行う全寮制高校としては、日本初の1条校として認可を受けています(卒業後は日本の高等学校を卒業した資格が得られる)。

ISAKのリーダーシップ教育について

ISAKでは、リーダーシップとは地位や肩書きではなく、先天的に与えられる能力でもなく、繰り返し鍛錬を積み重ねて身につく「スキル」であると考えています。多様化し、混沌を極める次代のアジアを中心とした世界において、困難な場面でも本質的に大切なことを軸に行動し、他者への共感を元に社会に貢献できるチェンジメーカーを輩出するため、次の3つの力を養います。

1. 多様な価値観を受け入れ、活かす力
2. 課題を発見する力
3. 失敗を恐れず行動する力

脳科学をベースとして、自己理解力、共感力を身につける「マインドフル・セルフディシプリン」と、周囲を巻き込んでイノベーションを起こすためのスキルを磨く「デザイン思考」を組み合わせた独自のプログラム、「Leadership by Design」を中心に、社会に新たな価値を創出するリーダーシップを備えた人材を育成します。

ISAK が日本初である点

▶ 海外から半数以上の留学生を受け入れる1条校

ISAKは、全体の約7割はアジア太平洋地域を中心に海外から生徒を受け入れます。これほど多くの留学生を受け入れる全寮制の国際高校で1条校に認められているのは、2015年3月現在、当校のみです。尚、一期生の国籍は、日本、タイ、マレーシア、米国、ベトナム、フィリピン、ネパール、インド、チリ、中国、タジキスタン、台湾、ソマリア、スペイン、オーストラリアの15カ国で、内日本人は18名です。

▶ 真の多様性を追求する、全寮制のインターナショナル・ハイスクール

当校は、少なくとも学年の2-3割の生徒に全額または部分奨学金を支給し、真の多様性を実現します。国籍だけでなく、社会的にも経済的にも様々なバックグラウンドの高校生が寝食を共にする学習環境で、「多様性を受入れ、活かす力」を養います。(2014年度は、5割以上の生徒に全額または部分奨学金を支給。)

▶ 国際バカロレア(IB) ディプロマ・プログラムを全校生徒が受講する高等学校

当校は、2015年4月1日付で、国際バカロレア機構より「国際バカロレア ディプロマプログラム認定校」として認められました。現在、一部にIBコースなどを設けている高校は存在しますが、全校生徒がIBを受講する高等学校は、当校が初めて*となります。

▶ 人々の「想い」を集めて設立された学校(寄付総額は18億円)

2009年に発足したこの学校プロジェクトは、設立資金と、生徒の奨学金を含む運営資金のすべてを、学校の理念と哲学に共感してくださった多くの個人、法人の方々のご寄付により賄っています。2015年3月現在、ご寄付額は約18億円に上っています。

学校概要

所在地:	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 5827-136 (施設:校舎棟、体育館、寮3棟、運動場)
敷地面積:	24319.56 m ² (延べ床面積:4859.91 m ²)
対象生徒:	高校1-3年生の男女、各学年約50名
卒業資格:	1) 日本の高専卒業資格、2) 国際バカロレアディプロマ(見込)
奨学金制度:	国籍に関わらず、最低でも全体の2-3割の生徒に部分または全額奨学金を給付(審査あり)

関連書籍

「世界を変える全寮制インターナショナルスクール」(発行・日経BP社)

「カンブリア宮殿 村上龍×変革者」(発行・日本経済新聞社)

「旗手たちのアリア 社会起業家編」(発行・日経BP社)

報道関係者用お問い合わせ先

学校法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢(ISAK)

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 5827-136 電話番号: **0267(46)8623**

Email: press@isak.jp 公式ウェブサイト: <http://isak.jp> 公式Facebookページ: <http://www.facebook.com/ISAK.jp>